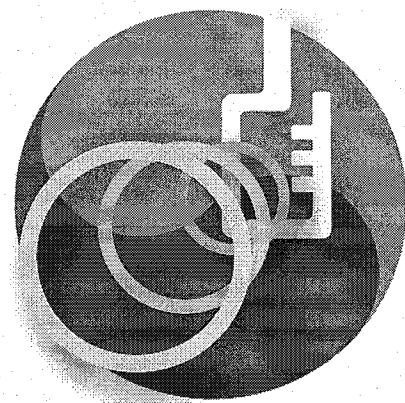


東北地区高等学校文化連盟放送部会

## 令和2年度総会資料（配布）

※令和2年9月15日オンライン理事会で承認された資料です。

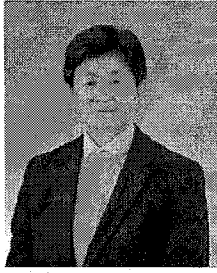


# YAMAGATA

### 次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 協議
  - (1) 令和元年度報告
  - (2) 令和2年度事業計画
  - (3) 第24回東北高等学校放送コンテスト 山形大会について
  - (4) 第25回東北高等学校放送コンテスト 秋田大会について
  - (5) 第20回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト決算報告
  - (6) その他
- 4 連絡
  - (1) 第21回東北高等学校アナウンス朗読コンテストについて
  - (2) その他
- 5 閉会

東北地区高等学校文化連盟放送部会規約



## ごあいさつ

東北高等学校文化連盟放送部会 会長

青柳 敦子

第24回東北高等学校放送コンテスト山形大会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。また、日頃から本部会の事業等に対しまして、ご理解、ご協力をいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。

各県の新人大会を勝ち抜き、本大会に参加されている生徒の皆さん、おめでとうございます。本来であれば、山形においていただき大歓迎しながら大会を開催するところですが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、参集型での開催を断念せざるを得ませんでした。大会の開催自体も危ぶまれる中、東北各県理事の先生方から「生徒が切磋琢磨できる場を何らかの形で設けてやりたい。」という熱い思いをお寄せいただき、web開催の形で実施することになりました。東北大会としては初めての試みとなったためデータのアップ等について、岩手県理事の菊地達哉先生の多大なご尽力を賜って本開催が可能になりました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。また、お忙しい中、審査員を引き受けてくださった先生方、感染防止策を取りながら日々ご指導いただいております顧問の先生方に心から感謝いたします。

私は、昨年度山形県放送部会長になるまで放送部との接点は、ほとんどありませんでした。初めて大会での様子を目の当たりにして、放送部の皆さんのアナウンサー並みの声の美しさ、朗読の華やかさ、制作部門の作品の若々しい感性に驚きました。皆さんが日々、努力と研鑽を積んでいることを感じ取ることができました。「放送」という本質を考えたとき、それは、聞く人や見る人に、何をどう伝えるのか、どう伝わったかが問われます。つまり、「伝える」という、コミュニケーションの神髄を追求している訳です。web開催では相手が見えません。見えない相手に、何を、どう伝えるのか、これは難題です。参集型でない分、同じ空間を共有することはできませんが、離れていても思いを共鳴させることはできるはずです。

新型コロナウイルスの感染拡大により、今まで当たり前に行っていたことが、できなくなっています。こういう時こそ、芸術の持つ力が心のエネルギーとなります。本大会で、東北6県の放送部の皆さんの思いが共鳴し、「輪」が「和」を生む、そんな大会になることを祈念しております。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力を賜りました関係各位に心から感謝申し上げ、あいさついたします。

### 3 協議

#### 協議(1) 令和元年度報告

##### ア 東北地区高等学校文化連盟放送部会令和元年度役員・大会実行委員会

会長	佐藤 秀美	福島県立いわき光洋高等学校長
副会長	青柳 敦子	山形県立左沢高等学校長
副会長	和田 央	秋田県立秋田中央高等学校長
副会長	渡部 靖之	青森県立北斗高等学校長
副会長	浅沼 千明	盛岡白百合学園高等学校長
副会長	後藤 順一	宮城県仙台西高等学校長
理事	渡邊 浩信	山形県事務局 山本学園高等学校
理事	松山 秀明	秋田県事務局 秋田県立能代松陽高等学校
理事	手嶋 久敦	青森県事務局 青森県立八戸東高等学校
理事	成田 奈穂	岩手県事務局 盛岡白百合学園高等学校
理事	三浦 英理子	宮城県事務局 宮城県仙台二華高等学校
理事	中野 加奈子	福島県事務局 福島県立いわき光洋高等学校
大会事務局	祓川 晃	福島県立小野高等学校

##### イ 事業報告

###### ① 第19回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト

令和元年7月1日～2日 八幡平市立細野コミュニティセンター

###### ② 理事会

令和元年9月17日 安積黎明高等学校 会議室

###### ③ 総会(顧問会議)

令和2年2月1日 郡山ユラックス熱海

###### ④ 第23回東北高等学校放送コンテスト 福島大会

令和2年2月1日～2日 郡山ユラックス熱海

令和元年度東北高文連放送部会一般会計 決算報告

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
A 繰越金	150,000	150,000	0	
B 会費	60,000	60,000	0	10,000*6県
C 雑収入	0	0	0	放送コンテスト残金
合計	210,000	210,000	0	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	増減	備考
A 事業費				
A01 放送コンテスト	60,000	60,000	0	
A02 アナウンス朗読コンテスト	0	0	0	※A01が赤字の場合に支出
A03 その他	0	0	0	その他の事業があれば支出
事業費小計	60,000	60,000	0	
B 予備費	150,000	0	150,000	
総計	210,000	60,000	150,000	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 210,000 - 60,000 = 150,000

以上のとおり相違ありません。

2020年 3月 17日

福島県高等学校文化連盟放送専門部長

佐藤 秀美

第23回東北高等学校放送コンテスト会計担当

高橋 浩美

監査の結果、適正と認めます。

2020年 9月 7日

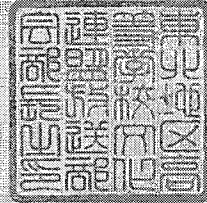
会計監査

宮城県事務局

会計監査

山形県事務局

遠藤和広  
渡邊若信



平成31年度事業費会計(1) 第23回東北高等学校放送コンテスト 福島大会 決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
A 東北高文連放送部会事業費	60,000	60,000	0	
B 参加料	1,120,000	1,120,000	0	5,000*224エントリー
C 県参加料	120,000	78,000	-42,000	20,000*6県/各県へ7,000返金(¥42,000)
D 繰越金	9,730	9,730		
E 補助金	100,000	100,000	0	福島県高文連より
F 広告料	0	15,000	15,000	ハーフトゥタイムラベルより
G 雑収入	0	2	2	
合計	1,409,730	1,382,732	-26,998	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>				
A01 専門審査員謝礼	170,000	180,650	-10,650	4名2日(¥20000/日)・交通費
A02 研修会講師謝礼	0	0	0	
A03 揮毫謝礼	5,000	5,000	0	
A04 表彰費	160,000	161,092	-1,092	トロフィー・楯・賞状等入賞にともなうもの
報償費小計	335,000	346,742	-11,742	
<b>B 需用費</b>				
B01 会議費	40,000	23,900	16,100	交通費等
B02 印刷費	180,000	135,200	44,800	パンフレット・ラベル等全員に配付するもの
B03 看板代	95,000	0	95,000	
B04 食糧費	160,000	105,749	54,251	審査員・運営委員等弁当・茶菓
B05 消耗品費	80,000	50,605	29,395	事務用品・ネームプレート・HDD等
需用費小計	555,000	315,454	239,546	
C 役務費	10,000	10,361	-361	送料・手数料・振込等
D 使用料	480,000	696,410	-216,410	ユラックス熱海/RKB/タイセイクリーン
E 予備費	29,730	13,660	16,070	生徒役員旅費・筆耕者旅費
総計	1,409,730	1,382,627	27,103	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,382,732 - 1,382,627 = 105

以上のとおり相違ありません。

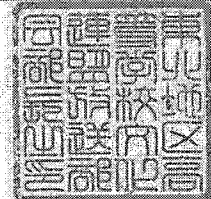
2020年 3月17日

福島県高等学校文化連盟放送専門部長

佐藤 秀美

第23回東北高等学校放送コンテスト会計担当

高橋 浩美



監査の結果、適正と認めます。

2020年 9月 7日

会計監査 宮城県事務局

会計監査 山形県事務局

遠藤 和広  
渡邊 浩信



第19回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト 決算

1 収入の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越金	761	761	0	
B 東北高文連放送部会 事業費	0	0	0	赤字の場合に補助を受ける
C 参加料	165,000	201,300	36,300	3,300*61 繰越20,000超過分は返金
D 雑収入	239	2	-237	利息
合計	166,000	202,063	36,063	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
<b>A 報償費</b>				
A01 特別講師旅費	53,000	87,500	-34,500	特別講師交通費・前泊・宿泊・昼食 アシスタント4名旅費補助
A02 研修講師謝礼	20,000	24,000	-4,000	特別講師20,000 特別指導担当1,000*4
A03 研修会	20,000	15,000	5,000	顧問研修会
A04 揮毫謝礼	5,000	5,000	0	賞状
A05 賞状	21,600	21,600	0	賞状500*1.08*40
報償費小計	119,600	153,100	-33,500	
B 需用費	23,000	23,000	0	事務局旅費
C 役務費	1,500	1,673	-173	郵送料(205*5) 振込手数料540+108
D 使用料	19,000	18,900	100	細野コミュニティセンター2日間
E 予備費	2,900	0	2,900	
合計	166,000	196,673	-30,673	

3 残高

収入決算額-支出決算額= 202,063 - 196,673 = 5,390 (次年度繰越金)

以上のとおり相違ありません。 令和元年8月26日 東北アナ朗コンテスト事務局 菊地達哉

監査の結果、適正と認めます。 令和元年8月26日 盛岡白百合学園高等学校 成田奈穂

## 協議(2) 令和2年度事業計画

### ア 東北地区高等学校文化連盟放送部会令和2年度役員・大会実行委員会

会長	青柳 敦子	山形県立左沢高等学校長	
副会長	尾形 徳昭	秋田県立秋田中央高等学校長	
副会長	渡部 靖之	青森県立北斗高等学校長	
副会長	小原 貴人	岩手県立盛岡第二高等学校長	
副会長	青山 勝	宮城県泉高等学校長	
副会長	阿部 秀樹	福島県立郡山高等学校長	
理事	渡邊 浩信	山形県事務局	山本学園高等学校
理事	堀井 裕紀子	秋田県事務局	秋田県立秋田南高等学校
理事	沼澤 豊起	青森県事務局	青森県立青森南高等学校
理事	菊地 達哉	岩手県事務局	岩手県立盛岡第二高等学校
理事	遠藤 和広	宮城県事務局	宮城県仙台南高等学校
理事	中野 淳之	福島県事務局	福島県立郡山高等学校
大会事務局	庄司 有奈		山形県立寒河江高等学校

### イ 事業計画

- ① 第20回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト  
令和2年6月29日～30日 八幡平市【中止】
- ② 理事会  
令和2年9月15日 オンライン会議
- ③ 顧問総会  
令和3年2月 資料配布
- ④ 第24回東北高等学校放送コンテスト 山形大会  
令和3年1月30日(土)～2月7日(日) ウェブ開催

ウ 令和2年度予算案

① 東北地区高等学校文化連盟放送部会 一般会計 予算案

1 収入の部

項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
A 繰越金	150,000	150,000	0	
B 会費	60,000	60,000	0	10,000*6 県
C 雑収入	0	0	0	利息等
合計	210,000	210,000	0	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
A 事業費				
A01 放送コンテスト	60,000	60,000	0	
A02 アナウンス朗読コンテスト	0	0	0	事業費が赤字の場合に支出
A03 その他	0	0	0	その他の事業があれば支出
事業費小計	60,000	60,000	0	
B 予備費	150,000	150,000	0	
総計	210,000	210,000	0	



② 事業費会計(1) 第24回東北高等学校放送コンテスト 山形大会 予算案

1 収入の部

項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
A 東北高文連放送部会事業費	60,000	60,000	0	
B 参加料	144,000	1,120,000	-976,000	1,000*144 エントリー
C 県参加料	120,000	120,000	0	20,000*6 県
E 補助金	100,000	100,000	0	山形県高文連より
F 繰越金	105	9,730	-9,625	
G 広告料	0	0	0	
H 雑収入	0	0	0	
合計	424,105	1,409,730	-985,625	

2 支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>A 報償費</b>				
A01 専門審査員謝礼	0	170,000	-170,000	
A02 研修会講師謝礼	0	0	0	
A03 揮毫謝礼	0	5,000	-5,000	
A04 表彰費	100,000	160,000	-60,000	楯 60,000 ・賞状 40,000
報償費小計	100,000	335,000	-175,000	
<b>B 需用費</b>				
B01 会議費	0	40,000	-40,000	交通費等
B02 印刷費	0	180,000	-180,000	パンフレット・ラベル等
B03 看板代	0	95,000	-95,000	
B04 食糧費	0	160,000	-160,000	審査員・運営委員弁当茶菓等
B05 消耗品費	60,000	80,000	-20,000	事務用品等(発送に関わる文具等)
需用費小計	60,000	555,000	-495,000	
C 役務費	60,000	10,000	50,000	送料・手数料等
D 使用料	3,320	480,000	-476,680	9/15 理事会会場使用料(キャンセル不可)
E 予備費	200,785	29,730	111,055	
総計	424,105	1,409,730	-985,625	

③ 事業費会計(2) 第20回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト 予算案

中止のため予算案はありません。

協議(3) 第24回東北高等学校放送コンテスト 山形大会について

ウェブ開催です。要項をご覧ください。

協議(4) 第24回東北高等学校放送コンテスト 秋田大会について

別紙資料をご覧ください。

東北地区高等学校文化連盟放送部会規約の大会ローテーションをご確認下さい。

協議(5) 第20回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト決算報告

中止のため決算書はありません。

協議(6) その他

なし

#### 4 連絡

第21回東北高等学校アナウンス朗読コンテストについて

日時 2021年6月28日(月)～29日(火)

会場 八幡平市細野コミュニティセンター

# 東北地区高等学校文化連盟放送部会規約

## 第1条(名称)

本会は東北地区高等学校文化連盟放送部会と称する。

## 第2条(事務局)

本会は事務局を会長の属する県に置く。

## 第3条(目的)

本会は校内放送活動の育成指導につとめ、その向上をはかることを目的とする。

## 第4条(事業)

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 東北高等学校放送コンテスト、講習会等の開催
2. 東北各県の校内放送活動の交流
3. 全国各地の関係機関との情報交換および交流
4. その他本会の目的達成のために必要な事業

## 第5条(組織)

本会は東北地区高等学校放送部・委員会によって構成され、東北6県の高等学校文化連盟専門部(以下「各県」という)単位に加入を認める。

## 第6条(役員)

本会は次の役員をおく。役員の内任期は1年とする。

1. 会長：東北高等学校放送コンテスト開催県の会長をもってあてる。会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長：各県の会長をもってあてる。副会長は会長を補佐する。
3. 理事：各県の事務局担当者をもってあてる。理事は会務の計画立案および執行、その他本会運営上の重要事項を審議する。
4. 会計監査：東北高等学校放送コンテスト前年度ならびに次年度開催県をもってあてる。会計監査は本会計を監査する。
5. 顧問：若干名。校内放送に関係の深い有識者より理事会が推薦し、会長が委嘱する。

## 第7条(会議)

本会は以下の諸会議を持つ。

1. 総会：本会の最高機関である。年1回会長が招集し、役員、事業、会計、その他の重要事項を決する。総会の議決は出席会員校の過半数の同意をもって行う。なお会長は必要に応じ、臨時総会を開催することができる。
2. 理事会：年1回会長が招集する。なお会長は必要に応じ、臨時に開催することができる。

## 第8条(会計)

本会の経理は、会費その他の収入をもってあてる。会費は1県あたり10,000円とする。本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第9条(細則)

本規約に細則を必要に応じ定めることができる(コンテスト規定等)。

## 第10条(改正)

本規約の改正は総会の議決による。

## 第11条(補則)

本規約に定めのない事項については、会長が理事会に諮って適宜に処理し、総会に報告するものとする。

## 附則

本規約は平成10年2月14日より施行する。

平成19年2月3日改正

## 確認事項

- ・東北高等学校放送コンテストのローテーションの原則  
秋田→青森→岩手→宮城→福島→山形

## 第25回東北高等学校放送コンテスト秋田大会 開催要項(案) 2020-8-20版

### 1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して、校内放送をとおり番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。

### 2. 主催

東北地区高等学校文化連盟放送部会

### 3. 共催

秋田県高等学校文化連盟 (予定)

### 4. 主管

秋田県高等学校文化連盟放送部会

### 5. 後援

秋田県教育委員会・報道各社 (予定)

### 6. 日時

令和4年2月12日(土)11:30～18:30

令和4年2月13日(日)9:00～14:30

### 7. 会場

秋田市文化会館

〒010-0951 秋田県秋田市山王七丁目3-1

TEL 018-865-1191

### 8. 開催部門 (参加規定、制作・審査規定参照)

(1)アナウンス部門

(2)朗読部門

(3)ラジオキャンペーン部門

(4)テレビキャンペーン部門

### 9. 審査員 (制作・審査規定参照)

大会会長が委嘱する専門職審査員および各県代表の教育職審査員による。

### 10. 表彰

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(トロフィー)

優秀賞 2 賞状・副賞(トロフィー)

優良賞 3 賞状・副賞(楯)

入選 4 賞状

奨励賞 10 賞状

(2)ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(トロフィー)

優秀賞 2 賞状・副賞(トロフィー)

優良賞 3 賞状・副賞(楯)

入選 4 賞状

### 11. 日程

2月12日(土)

11:30～12:30 総合受付(大ホールロビー)

11:30～12:20 準決勝審査員打合せ(第7会議室)

12:30～13:10 開会行事(大ホール)

13:30～15:00 ラジオキャンペーン部門準決勝(大ホール)

13:30～15:10 アナウンス部門準決勝A(小ホール)

13:30～15:10 アナウンス部門準決勝B(大会議室)

15:10～16:40 テレビキャンペーン部門準決勝(大ホール)

15:20～17:20 朗読部門準決勝A(小ホール)

15:20～17:20 朗読部門準決勝B(大会議室)

17:35～18:25 講演会(生徒対象, 大ホール)

17:35～18:25 総会(顧問会議, 大会議室)

2月13日(日)

9:00 開場

9:15～9:30 決勝進出者(校)発表・決勝受付(大ホール)

9:15～9:30 決勝審査員打合せ(第7会議室)

9:50～10:20 ラジオキャンペーン部門決勝(大ホール)

10:20～10:50 テレビキャンペーン部門決勝(大ホール)

11:00～11:40 アナウンス部門決勝(大ホール)

11:50～12:40 朗読部門決勝(大ホール)

12:40～13:30 昼食・休憩, 決勝審査会(第7会議室)

13:30～14:00 講評(大ホール)

14:00～14:30 閉会行事(大ホール)

### 12. 各種規定

参加規定、制作・審査規定、台本様式等は別に定める。

### 13. 宿泊等

宿泊および昼食の斡旋の申込み受付については指定業者が行う。

## 第 25 回東北高等学校放送コンテスト秋田大会 参加規定（案）

### 1. 参加資格

各県事務局から推薦された個人または学校

### 2. 各県推薦(エントリー)

#### (1) 推薦(エントリー)数

ア アナウンス部門・朗読部門 各県 12 名以内、開催県は 14 名以内、かつ 1 名 1 部門。

イ ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門 各県 6 本以内、開催県は 8 本以内、かつそれぞれの部門について各校 2 本以内。

#### (2) 推薦(エントリー)締切 令和 3 年 12 月 10 日(金)正午

(3) 推薦(エントリー)方法 各県事務局から大会事務局に、別に配布する様式により作成した電子データをメールで送付する。

### 3. 参加料

(1) 各部門とも 1 名(1 本)につき 5,000 円

県参加料 1 県につき 20,000 円

(2) 納入期限 令和 3 年 12 月 10 日(金)正午

(3) 納入方法 各県事務局がとりまとめの上、大会の口座に振り込む。振込手数料は、各県事務局負担。

(振込先：未定)

(第 25 回東北高等学校放送コンテスト秋田大会事務局  
会計担当：未定)

(4) その他 領収書は銀行発行のものとする。

### 4. 原稿・番組進行表・作品の提出

(1) 提出する原稿・台本・メディア等の数

ア アナウンス部門・朗読部門 原稿 3 部

イ ラジオキャンペーン部門

CD-R 1 枚・番組進行表 3 部

ウ テレビキャンペーン部門

DVD-R 1 枚・番組進行表 3 部

(2) 提出締切 令和 4 年 1 月 21 日(金)正午必着

(3) 提出方法 各県事務局とりまとめの上、大会事務局に、郵送または宅配便により送付する。費用は各県事務局が負担する。

### 5. その他

(1) 当コンテストのために集められた個人情報については、コンテストの目的以外には使用しない。

(2) 使用著作物については、著作権隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3) 応募された番組などは、主催者に関連する印刷媒体、ウェブサイト、放送などで利用することがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物や出演者、協力していただいた方々などから、公開の承諾を得ておくこと。

### 6. 大会事務局：未定

連絡先（暫定）

秋田県立秋田南高等学校 堀井裕紀子

〒010-1437 秋田県秋田市仁井田緑町 4-1

Tel. 018-833-7431 Fax. 018-833-7432

E-mail: [horii-yukiko@akita-pref.ed.jp](mailto:horii-yukiko@akita-pref.ed.jp)